

Revisiting Shoei Yoh 葉祥栄再訪 熊本展

2026年1月18日（日）－3月9日（月）

熊本市現代美術館 井手宣通記念ギャラリー

Contemporary Art Museum, Kumamoto

開館時間 10:00 - 20:00 火曜休館 入場無料

主催＝熊本市現代美術館（熊本市・公益財団法人熊本市美術文化振興財団）＋九州大学葉祥栄アーカイブ

協力＝ニューサウスウェールズ大学（UNSW WIL）、葉村幹樹、紅蘭亭グループホールディングス

※ 2026年1月8日、葉祥栄氏は逝去されました。追悼の意をこめて本展を開催いたします。

再上陸。



KYUSHU
UNIVERSITY



eclub

CAMK



UNSW
SYDNEY

「葉祥栄再訪 Revisiting Shoei Yoh」は、戦後九州を代表する建築家、葉祥栄の主要作品を紹介する展覧会です。

1940年に熊本に生まれ、福岡を拠点として活動した葉祥栄は、プロダクトからインテリア、建築と多岐にわたる分野で日本のデザインシーンを牽引してきました。近年では、現代的な木造表現とデジタルデザイン（コンピュータを使った建築設計）の先駆者として国内外で再評価が広がっており、南阿蘇村の「熊本県野外劇場アスペクタ」（1987）や小国町の「小国町民体育館」（1988）をはじめ、地域の風土・文化と深く呼応する一連の建築群は、地域創生の観点からも新たな注目を集めています。

「葉祥栄再訪」は、2019年のシドニー展を皮切りに、福岡、東京、小国、アデレードと巡回を重ねてきました。葉の出身地である熊本市での開催となる本展では、九州大学葉祥栄アーカイブが所蔵する資料をもとに、県内の作品に焦点をあて、地域の人々や風景との対話のなかで育まれた創作の軌跡をたどります。

葉祥栄 / Shoei Yoh

1940年、熊本県熊本市生まれ。1962年、慶應義塾大学経済学部卒業、ファイン・アプライドアーツ奨学生としてウィッテンバーグ大学に留学。1970年に葉デザイン事務所を設立。1992年、コロンビア大学大学院建築学部客員教授。1996年、慶應義塾大学大学院教授。2007年、ウィッテンバーグ大学より名誉芸術博士号を授与される。

主な受賞に、日本建築家協会新人賞（光格子の家、1983年）、毎日デザイン賞（ガラスによる一連の作品、1983年）、日本建築学会賞作品賞（小国町における一連の木造建築、1989年）、IAKS Award Gold Medal（小国町民体育館、1993年）、日本建築家協会25年賞（小国町民体育館、2018年）、日本構造デザイン賞 松井源吾特別賞（2024年）、DOCOMOMO JAPAN 選定（小国町交通センター、2025年）がある。

九州大学葉祥栄アーカイブ / Shoei Yoh Archive

九州大学葉祥栄アーカイブは、2019年に建築家・葉祥栄氏から寄託された図面・文書・模型・プロダクトのアーカイブ活動を行っています。葉祥栄氏の資料群は、九州大学の研究・教育活動に役立てられています。本展覧会は、九州大学大学院芸術工学府スタジオプロジェクトおよびニューサウスウェールズ大学 Work Intergrated Learningの一環として、学生たちがキュレーションと展示デザインを行いました。<https://shoeiyoh.com/>

【交通アクセス・お問い合わせ】

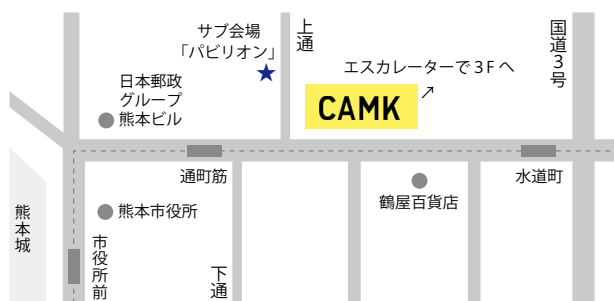
熊本市現代美術館 / Contemporary Art Museum, Kumamoto

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3階

TEL：096-278-7500 www.camk.jp

「通町筋」電停・バス停で下車、目の前

- JR熊本駅から市電またはバス「健軍町」行（約15分）
- JR新水前寺駅から市電またはバス「熊本駅」「上熊本駅」行（約10分）
- 阿蘇くまもと空港から空港バス「熊本駅前」行（約40分）



*美術館専用の駐車場はありません。びぶれす熊日会館駐車場（有料）や周辺のコインパーキングをご利用ください。



小国町民体育館 / 竣工 1988 年 / 撮影：井上ー / 葉祥栄アーカイブ蔵



熊本県野外劇場アスペクタ / 竣工 1987 年 / 葉祥栄アーカイブ蔵



葉祥栄アーカイブの資料群

表写真：三角港フェリーターミナル / 竣工 1990 年 / 葉祥栄アーカイブ蔵

●オープニング・イベント / 1月18日（日）

ギャラリートーク 九州大学の教員・学生が、本展の内容を解説します。○会場 / 井手宣通記念ギャラリー ○時間 / 13:30, 15:30, 17:30（各30分程度）○定員 / 各回先着20名程度

「くまもと建築ビデオグラフィー」上映会

九州大学とニューサウスウェールズ大学の学生たちが熊本県内の建築をテーマに共同制作した映像作品を上映します。○会場 / ホームギャラリー ○時間 / 14:15 - 15:00 ○定員 / 先着60名程度

STREET ART-PLEX KUMAMOTO (S.A.P)

表現あふれる熊本の街をつくり続けてきたS.A.P。本展開幕の夜、セロニアス・モンクの名作を響かせます。○会場 / ホームギャラリー ○時間 / 18:00 - 19:00

●関連イベント / 2月22日（日）

クロストーク「アーカイブ・展覧会・建築教育」

建築のアーカイブ、キュレーション、教育の実践者が、領域を横断する意義と可能性を議論します。○時間 / 14:00 - 16:00 ○会場 / ホームギャラリー ○定員 / 先着60名程度 ○登壇者 / 京都工芸繊維大学 川勝真一、法政大学 藤本貴子、九州大学 岩元真明

*いずれのイベントも参加無料・申込不要です。会場まで直接おこしください。

*詳細については、熊本市現代美術館ホームページまたはSNSをご確認ください。